

<熊本支部例会事前抄録>

日時：2023年1月24日（火）19時30分～

会場：添島歯科クリニック

-一般講演抄録 2-

審美領域における Narrow Diameter Implants の有用性

添島義樹 佐藤歯科クリニック 〒860-0805 熊本県熊本市中央区桜町1-28

■抄録

インプラント治療は、適応症を誤らなければ長期的な成功を達成しうることから欠損補綴の選択肢の一つとして定着している。当院では臨床においてインプラントを導入した当初より、1回法のインプラントとして開発された Straumann インプラントを現在まで継続して適用している。審美領域へのインプラント埋入においても D.Buser らが提唱する3次元的なコンフォートゾーンという概念を遵守すれば、審美的に良好な結果を得ることができる。しかしインプラントショルダーの径が太いティッシュレベルタイプのインプラントでは、骨幅狭小な症例での対応を難しくしていた。そのような症例への対処として、径の細いプラットフォームスイッチングタイプのインプラントを用いることで、より低侵襲で審美性に優れる治療をすることが可能となった。

今回の発表は、審美領域に径の細いインプラントを適用した症例を提示し、現在のインプラント治療の考え方について述べさせていただきます。